民主 PRESS MINSHU
号外
埼玉県（第１区版）
平成25年6月18日発行

民主党プレス民主編集部
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL　03-3595-9988（代表）
民主党埼玉県連広報局
さいたま市浦和区高砂3-6-16
TEL　048-833-3500　　FAX　048-833-3503
URL http://minshu.org E-mail info@minshu.org

衆議院議員 たけまさ公一 国会レポート 第153号

電波のオークション法案
総務大臣と並び答弁に…5月21日

アベノミクス負の影響…5月22日,24日
3つの宿題投票年齢引き下げ討議

医療過疎県埼玉の問題解決
人口比、日本一少ない医療の問題解決
参議院選挙埼玉選挙区

山根りゅうじ
参議院議員の公認決定！

民主党が原点に戻り、改革の党として創生しなければならない今、この参議院議員選挙が立て直しの第一歩となります。

電波のオークション法案、総務大臣と並び答弁に
衆議院総務委員会　5月21日

前政権時代は電波のオークション（入札）法案を閣議決定し、国会に提出しました。残念ながら政権交代後、新内閣は電波のオークションに対し後ろ向きな発言がされたので、3度目となる法案を提出しました。3本目の矢である成長戦略の成否の鍵を握るのが「規制改革」であり、電波の規制改革である電波オークションはOECD加盟34ヵ国中、27ヵ国で導入しています。

「今後10年で220倍」との電波を必要とする分量を考えれば、不要になった電波帯を国に返させる動機づけが必要です。

答弁を通じて政府与党に再考を促しましたので、法案は否決されましたが引き続き提案してゆきます。

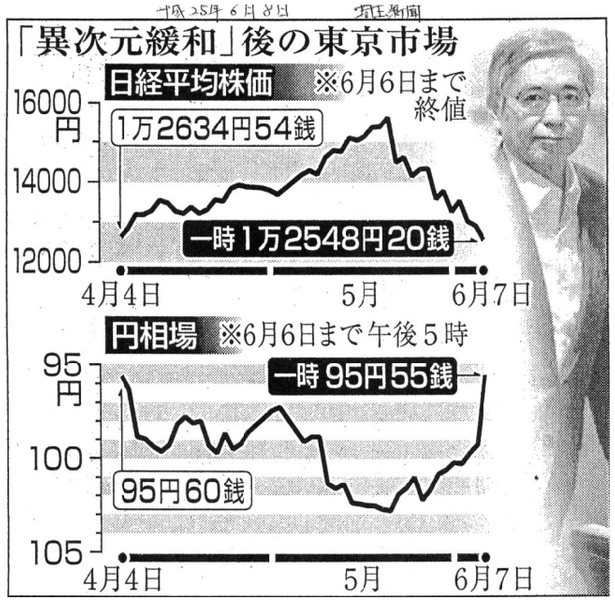
アベノミクスの負の影響　5月22日、5月24日

衆議院財務金融委員会で、金融商品取引法等の一部を改正する法律案についての審議が行われました。

参考人からは、昨年のAIJ投資顧問会社の不祥事などに対する反省の弁が述べられました。

また、5月までに、8兆円の外国人投資家による株式市場への資金が株価を押し上げた一方で、国内の年金基金は株価が上がり運用資金に占める株式の割合を減らすために、売却しなければならないルールに基づき株式を売却しているという発言がありました。

平成25年6月8日　埼玉新聞



現在、株価や為替（円ドル交換レート）は「異次元緩和」前に戻りましたが、急激な円安による物価上昇、国債発行額の7割を

日銀が引き受けることによる金利上昇は元に戻りません。国民の負担のみ増えたとはいえ、「3本目の矢」である成長戦略のメニューは一部出ましたが、その鍵を握る規制改革の本気度が、問われます。

3つの宿題　投票年齢の引き下げ討議

憲法審査会　5月30日、6月6日、13日

国民投票法が結論を出すよう定めている成年年齢の18歳以上への引き下げなど「3つの宿題」に関する議論を始めました。

「3つの宿題」は、(1)公職選挙法の投票年齢や民法の成年年齢などを国民投票と同じ18歳以上へ引き下げる(2)公務員の政治的行為の制限緩和(3)国民投票の対象を憲法改正以外に拡大の3点の是非に結論を出すよう求めています。

衆議院憲法審査会では、いわゆる「3つの宿題」について各省庁からの説明報告を受けての質疑及び自由討議が行われました。

18歳投票年齢等への引き下げについては、武正議員から、例えば法施行後何年以内に投票権年齢等引き下げを改正する旨の規定を設けることを条件とし、公選法と民法の投票年齢と成年年齢の引き下げとは切り離しての対応を容認する発言がありました。

立法府と司法府の関係が議論になる背景としては、2011年3月の最高裁の一票の格差に関する違憲状態判決、これに続く高裁による違憲、違憲状態、選挙無効判決において、法の下の平等を定める憲法14条違反との指摘があったことが大きいです。

この場においても司法の判断は真摯に受け止めるべきであります。民主党は、憲法裁判所の設置を検討することを既に主張しており、司法府の違憲立法審査権の充実を求めています。

13日に憲法改正国民投票の3つ目の宿題のうち、国民投票制度に関する検討条項について行いました。

その後、現憲法の検証を一通り終えての各党意見表明を行い、民主党を代表して武正議員から述べました。

たけまさ公一後援会主催

夏休み特別企画 親子国会見学会

2013年8月7日(水)

午前11時現地集合　午後2時現地解散

お子様の夏休みの自由研究に。お申し込みはたけまさ事務所まで。お気軽にお申しつけください。

岩槻・浦和・緑・見沼区で、たけまさ公一とともに より良い地域を実現します

民主党埼玉県第1区地方議員並びに県政・市政担当者

浅野目　義英
県議・浦和区
昭和33年生まれ
民主党・無所属の会幹事長／議会運営委員会
次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

井上　將勝
県議・見沼区
昭和54年生まれ
民主党・無所属の会
福祉保健医療委員会
次世代人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会

神崎　功
市議・緑区
昭和30年生まれ
さいたま市議会副議長、民主党さいたま市議団顧問／民主党埼玉県連副代表／総合政策委員会/予算委員会

高野　秀樹
市議・岩槻区
昭和35年生まれ
民主党さいたま市議団
団長／議運委員会
地下鉄7号線延伸事業化委員会副委員長

三神　尊志
市議・見沼区
昭和55年生まれ
民主党さいたま市議団
市民生活委員会委員長／地下7延伸委員会/予算委員会委員

小柳　嘉文
市議・浦和区
昭和40年生まれ
民主党さいたま市議団
見沼田圃将来ビジョン委員会／市民生活委員会／決算行政委員会

武田　和浩
市議・見沼区
昭和36年生まれ
民主党さいたま市議団
まちづくり委副委員長
見沼田圃将来委員

松岡　耕一
緑区・県政担当
昭和51年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事

石田　昌生
緑区・市政担当
昭和35年生まれ
民主党埼玉県第1区総支部幹事

たけまさ公一プロフィール

……昭和36年(1961年)生まれ
…さいたま市立木崎小、木崎中、県立浦和高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒業
……平成元年、松下政経塾卒業　平成11年4月、埼玉県議会議員2期目当選
……平成24年12月16日、衆議院議員5期目当選

【内　閣】前財務副大臣／元外務副大臣
【衆議院】財務金融委員会委員／憲法審査会会長代理／青少年問題特別委員会委員
【民主党本部】総務委員長／税制調査会副会長　【民主党埼玉県連】代表代行

たけまさ公一事務所

●浦和事務所　さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2階　TEL 048-832-3810　FAX 048-832-3846
●岩槻事務所　さいたま市岩槻区本町5-5-12　TEL 048-749-6801　FAX 048-749-6802
●国会事務所　千代田区永田町2-1-2第2議員会館312　TEL 03-3508-7062　FAX 03-3519-7715

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております　メールアドレス　voice@takemasa-k.jp